

事務事業評価シート(平成24年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
71215	滞納整理事務	住民税務課	徴収係	向山 光	伊藤 公一	
		一次評価年月日	平成 25 年 5 月 31 日	連絡先〔内線〕	2107	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		0230	税務総務事務	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		0231	賦課徴収事務	
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	7章	効果的・効率的な行財政運営のまちづくり	
		節	(コード選択)	1節	地方分権時代に対応した計画的な行財政運営の推進	
		項〔基本施策〕	(コード選択)	2項	計画的な財政経営の推進	
		目〔主な施策〕	(コード選択)	1目	財政の健全化	
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱		<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時期不明 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(～に対して).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町税〔法人住民税、住民税(普通徴収・特別徴収)、固定資産税、国民健康保険税〕の滞納者(督促状を発送後10日を経過した者)

②目的(意図)(～という状態にするために).....この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

町の自主財源を確保するために、滞納整理を行い、滞納者数、滞納税額を減らし、納税の公平性を確保する

③手段(事業内容)(～を行う).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 町税等納税催告書を送付し、滞納金額を知らしめ、年3回の滞納整理期間に合わせ滞納整理を行う
- 2 差押のための財産調査を行う
- 3 差押による滞納処分を行う
- 4 財産調査を行い、納税能力のない者に対し執行停止を行う

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
①	指標名	差押のための財産調査の件数		4,449	4,500	4,700	0.96	4,700
	説明	預貯金調査の件数		目標値設定の根拠 前年度の数値から推計				
②	指標名	差押		100	88	100	0.88	100
	説明	差押件数(差押解除含む)		目標値設定の根拠 前年度の数値から推計				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
①	指標名	滞納整理期間における徴収率		6.51	6.96	7.00	0.99	7
	説明	12月の滞納整理期間としての徴収率		目標値設定の根拠 前年度の数値から推計				
②	指標名	差押		100	580	125	4.64	125
	説明	差押金額(差押解除含む)		目標値設定の根拠 前年度の数値から推計				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+② (千円)		平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 決算	平成25年度 見込み															
対前年比			161.9	90.2	47.3															
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		0	0	0	0															
B)一般財源(税金)		24,796	40,157	36,240	17,157															
①事業費 (千円)		24,796	19,963	19,963																
対前年比			80.5	100	0															
②人件費の概算 (千円)		0	20,194	16,277	17,157															
対前年比			#DIV/0!	80.6	105.4															
	課長	課長補佐			係長			一般職員			延べ人数			年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費			
	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25					
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.50	1.01	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	1.01	1.00	2.50	2.02	2.00	0	18,294	14,177	15,057
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)												0	1,900	2,100	2,100			

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある → 長野県地方税滞納整理機構、県税徴収対策室との徴収協力 C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している → 滞納者本人からの意見、県などの連絡会議及び研修会から把握している C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

差し押さえを強化し、対象とする滞納者の抽出を精査し差し押さえ予告することにより、徴収率を上げた。差し押さえる対象も、預金、給与に絞り、調査件数を上げることにより徴収率を上げる。(差し押さえ予告による納税相談や納付が増えた。また、預金、給与の差し押さえにより差し押さえ件数よりも、差し押さえによる換価額を上げることができた。)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

25年度予算見積書への反映 あり なし

〔反映内容〕

タイヤロック購入

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

滞納整理強化のための、徴収対策室としての取り組みがマンネリ化しやや不足した感がある。初期滞納者に対する電話催告も継続実施が有効であるが未実施となった。滞納者に来庁させることが基本ではあるが臨戸訪問しきめ細かな接触することで徴収に至るケースも多い。今後年間のスケジュールに基づき何をいつまでにどこまでといった具体的な数値に基づき税務職員全員で取り組む必要がある。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

A. 貢献度 大
 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

➡ b 上記 a~e を選択